

佐賀県知事 様

住 所 111-0042 東京都台東区寿1-5-10 1510ビル3階  
団 体 名 特定非営利活動法人ジャパンハート  
代表者職・氏名 理事長・吉岡春菜

佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」による  
寄附金活用実績報告書

2021年2月2日付け県協第 2034号により寄附金交付決定通知のあった佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」を活用して下記のとおり事業を実施したので、佐賀県ふるさと寄附金（「県民協働の地域づくり」及び「NPO等を指定した支援」）による寄附金交付要綱の規定により、関係書類を添えて報告します。

記

- 1 活用実績報告書（様式第6号 別紙1）
- 2 収支決算書（様式第6号 別紙2）

## 令和2年度寄附金活用実績報告書

事業名	佐賀県をハブとした災害支援体制の強化
寄附受入額	金 13,996,722 円
事業内容 (いつ、どこで、誰が、何を、どのように実施したのかについて記載)	
<p>・ジャパンハート国際緊急救援担当者が、佐賀県を中心とする九州の災害関連機関/団体様との関係構築を行い、緊急時の連絡/情報収集体制を構築する。</p> <p>→</p> <p>11月25日の協定式に際して、理事長・吉岡春菜および国際緊急救援担当者が、佐賀県内の他CSOの活動拠点であるTOJIN館や市民プラザを視察した。また、他CSOとの意見交換会に参加した。</p> <p>・ジャパンハート国際緊急救援担当者が、支援物資の購入・貯蓄・管理などを実施する。</p> <p>→</p> <p>佐賀県伊万里市の事務所において、医療物資を中心とする災害時支援物資を購入、貯蓄した。また、新型コロナウイルス感染症のクラスターが発生した施設などへの医療支援を実施する際は、当事務所から、支援先の医療機関や介護福祉施設へ物資を輸送して利用した。</p> <p>・年2回実施する国際緊急救援ボランティア登録研修会の少なくとも1回を佐賀県内で行い、災害の多い九州地方在住者が知識獲得と有事に実働可能となる機会を増やす。</p> <p>→</p> <p>2020年12月26日、27日に、第6回災害ボランティア研修を佐賀県佐賀市にて実施した。参加者のうち10名が現地、30名がオンラインで参加した。</p>	
事業実施の成果・効果 (見込み)	
<p>※提出期限までに成果・効果を示すことが困難な場合は、成果・効果の見込みを記入してください。</p> <p>・発災前の情報収集体制構築により、発災時に円滑に支援ニーズをくみ取り、緊急救援活動を実施可能になる見込みである</p> <p>・新型コロナウイルス感染症クラスターが発生した医療機関および福祉施設での活動時に、ジャパンハートから支援物資を円滑に輸送した。</p> <p>・災害ボランティア研修の受講者が、2021年1月から新型コロナウイルス感染症クラスターの発生した医療機関および福祉施設での活動に参加している。</p>	

収 支 決 算 書

事業名		佐賀県をハブとした災害支援体制の強化	
区 分		決算額 (円)	備 考
収 入	佐賀県ふるさと寄附金	13,996,722 円	
		収入 計	13,996,722 円
支 出	旅費	1,500,000 円	関東からの往復×30回
	宿泊費	2,100,000 円	7,000 円/泊×60 日×5 名
	現地車両手配等交通費	420,000 円	7,000 円/日×60 日
	医療品・支援物資	3,000,000 円	
	安全管理費	400,000 円	PCR 検査費等
	消耗品費	100,000 円	
	人件費・福利厚生費	6,300,000 円	5 か月分×5 名
	事務所賃料管理費	50,000 円	5 か月分
	会場・機材レンタル費	76,722 円	
	広告宣伝費	50,000 円	
		支出 計	13,996,722 円

- 支出区分は、謝金、旅費、印刷製本費、消耗品費、使用料等に分けて記載してください。  
経理上の区分名で記載して構いません。
- 領収書等は事業終了後5年間保存してください。